

福島第一原子力発電所 土壌 Pu 分析結果

1. 測定結果

(単位: Bq/kg・乾土)

採取場所 ()は1,2号機スタックからの距離	採取日 分析機関	Pu-238	Pu-239, Pu-240
グランド(西北西約500m)	5月26日	N.D.	N.D.
野鳥の森(西約500m)	日本原子力 研究開発機構	N.D.	N.D.
産廃処分場近傍(南南西約500m)		$(1.7 \pm 0.22) \times 10^{-1}$	N.D.
国内の土壌		N.D. ~ 1.5×10^{-1}	N.D. ~ 4.5

: 文部科学省「環境放射線データベース」昭和53年~平成20年

2. 評価

検出された Pu-238 の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

なお、産廃処分場近傍においては、3/21以降にサンプリングした試料から Pu-238 および Pu-239、Pu-240 が検出されているが、値に大きな変化は見られていない。

以上